



# 北陽同窓

会報・第13号

北陽高等学校

同窓新聞

1992. 7. 25. 発行

編集発行

会報委員会

委員長

藤井 文太郎

## 稻野治兵衛同窓会長逝去

北陽同窓会長、関西大学理事長、稻野治兵衛氏が7月7日午後4時14分、胃がんのため吹田市の新千里病院で逝去されました。74歳でした。葬儀は去る7月10日、吹田市桃山台の千里会館で執り行われ、各界から2,000人が参列されました。

稻野同窓会長は昭和10年、北陽商業学校を卒業され、関西大学法文学部へ進み、昭和16年、毎日新聞社へ入り、社会部記者を振り出しに社会部長、編集局長、常務、専務取締役等の要職を歴任されました。なかでも東京本社社会部長時代、暴力団追放運動のきっかけとなったキャンペーン企画記事「組織暴力の実態」は大反響を呼び、日本新聞協会賞を受賞されたことはあまりにも有名です。

昭和55年から関西大学副理事長となり、昨年9月理事長に就任。高槻キャンパスの建設、総合情報学部の創設等に尽力され、傍ら大阪市教育委員長、日本私立大学連盟常務理事等教育界に多大の足跡を残されました。

母校同窓会には阿部会長のあとを受け、昭和56年2代目会長に就かれ、母校60周年の記念事業、育英資金の募金など、母校及び同窓会の発展に貢献されました。

また、ご逝去される10日前の6月27日には母校で開かれた同窓会理事会に出席され、諸議案を採決されたばかりがありました。謹んでご冥福をお祈り申しあげます。



## 第70回全国高校サッカー選手権大会を顧みて

第70回全国高校サッカー選手権大会は、前評判の高かった三重県代表「四日市中央工業高校」と、予想ではあまり名前の挙がらなかった名門「帝京高校」との間で決勝戦が行われた。試合は息づまる好ゲームとなり、結局勝負のつかないまま両校優勝となった。

優勝した2チームを分析すると、四中工はテクニック、スピード、パワーどれをとってもトップクラスにあり、その上頼れるエースも存在し、当然の優勝といえると思う。一方、帝京は総合力では、並でとても優勝できるメンバーとは考えられなかったが1戦1戦粘っこく勝つうちにチームとしての力が向上し、決勝戦では四中工と比較しても引けをとらないぐらい本大会で成長した。それでは、北陽はどうであったかと言うと、1回戦は「北陸高校」に圧勝したものの、2回戦で「徳島市立高校」にあっさりと負けてしまった。四中工ほどの実力はなかったが、帝京に引けをとらないはずであった。

北陽と帝京を比較してみて感じることは、帝京には北陽はない、「目に見えない何か」が存在していたようである。この「何か」とは、もちろんパワーやテクニックなどではない。そうかといって一言で精神力と言い切れるものでもなさそうである。勝負にこだわる「執念」のようなものが力となり、チームをまとめ、成長させたような気がする。

我が北陽高校サッカー部も、能力の高い選手を11人集めるのは無理かもしれないが、「目に見えない何か」を持ったチームになれる可能性は十分にあると感じた。

最後になりましたが、日頃からサッカー部を、ご支援して下さり、全国大会出場に際してもご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げるとともに、今後ともより一層のご指導を下さいますようお願い致します。

サッカー部長 宮前 博行

# 母校の現況

(母校校長 林 敏夫)

同窓の皆様にはお変わりなくご健勝のことと存じます。いつも何かとご支援を賜り、感謝いたしております。

皆様の母校北陽は大正14年創立以来67年の年輪を刻み、卒業生も今春で2万5千名を超えた。一方、生徒の激減する中で、今年はそれでも2,971名の受験者があり、その中から563名が入学してまいりました。従って、今年度の生徒総数は1,684名、昨年より41名減となりましたが、クラス数は逆に2クラスふえました。それは、1年の特進コースが2クラスになったのと、3年が進路希望別編成によって14クラスになったためです。

この3年次のコースは、特進、英語、理系、文系1(進学)、文系2(就職)の5つに分かれますが、特に就職コースには情報処理の授業を週3時間取り入れました。就職する生徒には少しでもコンピューター処理ができるようにしておこうと数年前から準備していたのですが、施設も国と府の補助を得て、パソコン48台を備えた特別教室が今春完成、早速授

業が行われています。これは生徒にも大変好評のようで、全員が熱心に実習に取り組んでいます。

次に、昨年度末で前野球部監督の松岡英孝先生が退職になりました。健康と一身上の都合のためにたっての慰留も空しく、学校を去られたのはまことに痛惜の極みですが、今はただ先生の32年にわたる北陽への多大の貢献とご功績に対して深甚の感謝を申し上げるとともに、今後のご健康とご多幸を切に念じるばかりです。なお、硬式野球部は北陽OBの新納弘治監督が松岡先生の精神野球の伝統を引き継いで頑張っておりますので、変わらぬご支援とご叱正をお願い申し上げます。

クラブでは、サッカー部や水泳部の全国大会出場陸上部やハンドボールの近畿大会での活躍など例年に劣らず成果を挙げています。

その他、今後生徒の激減という試練を前に北陽の法燈を絶やすことのないよう教職員がそれぞれに努力をいたしておりますので、母校のために益々のご支援をお願い申し上げます。

## 本年度協力金2,000円ご送金下さい

同窓会報は会報編集に伴う諸経費、および会員連絡に係る通信諸経費などが主なる出費がありますが、これらは同窓関係者の広告料、および会員各位から送られてくる協力金によって賄われています。

本年も何卒引き続き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。同封の振り込み用紙をご利用の上、同窓会本部までお振り込み下さい。

尚、既にご送金頂いている会員、並びにこれまで引き続きお振り込み下さっている会員各位に対しては、ご氏名を会報に掲載して謝意を表しておりますが、ご協力ご支援の程、改めて厚くお礼申し上げます。  
(同窓会事務局)

## 同窓会本部在庫図書ご案内

- 同窓会員名簿 4,000円
- 野球部史 3,000円

購入希望の方は本部まで電話又は郵便でお申込み下さい

学校指定教科書販売店

参考書のご用命はぜひ

有限会社 藤川隆文堂へ

東淀川区東淡路商店街  
(06) 322-5759

# 北陽高校学生服指定 株アカシヤ

阪急淡路駅前スク  
TEL 06-322-2752

## (その1)

全く思いもかけないことがある日突然起きたのです。平成3年12月7日（この日は海軍第14期会関西支部主催の忘年会が京都で開かれたが私は大阪で恩師をしのぶ会を主催していたため、その方へ出かけようとしていた）突然海軍第13期生の川崎という人から電話がかかって来ました。

47年前の私の所有していた本（本というよりも約40頁位の小冊子）が大阪・梅田の地下街にある古本屋の片隅にあったのを、ぶらぶら古本探しをしていました川崎氏の目に止まり、買い求めて持て帰ったのでした。

その本は大竹海兵团長福田貞三郎海軍少将が書いた「青年士官の部下統御」と題する小冊子で裏に「土浦海軍航空隊→北浦航空隊第14期予備学生 藤井信雄（私の幼名） 昭和19年5月25日」と書いてありました。

「これは珍しいものだ。海軍時代を体験している者にとっては貴重なものだ。出来ることなら持ち主に返してあげたい」と考えた川崎氏はこの持ち主の所在の調査を三重航空隊時代の分隊長、川橋氏（東京在住、予備学生第6期）に依頼されたのです。

その人から調査結果が届いたのが12月6日。分かって見れば自分と目と鼻のところに住んでいるではないか（川崎氏は大阪市福島区在住）。早速、翌7日まず私の生存を確かめる電話があったのでした。

大竹海兵团を出て土浦航空隊に向かうとき、「勉強せよ」ということで頂いたものであろう。それにもしても、どうして47年もの長い時間が経っているのに、なぜ今頃、古本屋の片隅にあつたのであろうか。折しも太平洋戦争50周年の日の前のことでした。

## (その2)

昭和9年2月22日“蘆溝橋事件”による肉弾3勇士の特攻……これが発端となった事件から事変へ、そして大戦争へと発展して行き、ようやく日本の敗戦によって終結したのです。

この話は去る2月12日大阪府茨木市の市立玉櫛小学校3、4年生合同の社会科教程「戦争の話」の時間に私が話したことでした。小学校の3、4年生というと年齢は8、9歳といったところで、戦争の話といても、その子らの親自身もよく知らないだろうと思われます。そこで私は神風特別攻撃隊の話、海軍予科練習生や陸軍少年兵の話、学徒出陣や学徒勤員の話、学童疎開の話、靖国神社の話、そして私自身は何をしていたか、などを話したのです。

なかなかずく、15~18歳の予科練生のすさまじい特攻の話には力を入れました。また学徒勤員

で女の子は工場や病院で働きましたが、不幸にして敵襲に倒れた子もたくさんいます。みんな國のために死んでいったのです。そして死を覚悟した時、両親や兄弟姉妹にあてた遺書を書きました。その遺書の1つを読み上げました。この少年少女たちや多くの人が國のために捨てた命のおかげで今日の平和と幸せのあることを話したのです。

話し終わって、3年生担任の先生方は子供たちにこの話を聞いた感想文を書くよういわれたのですがすぐさま子どもたちは書いてくれました。

汚れない、きれいな心で率直に感じたままを書いてくれました。ここに、2文を紹介いたします。

「笹嶋裕子…あの3人のへいたいさんたちはばくだんをもって死んだのが、すごくかわいそうです。せんそでたたかった人たちのおかげで、いまの日本は、へいわになったと思います。わたしのお兄ちゃんが、もし、せんそうに行って、しんできまつたら、すごく、いやです。せんそうはおおくの人の命をうばうからいやです。だれがせんそうなんか考えたんだろう？ ばくだんはこわいなあ。せんそうはこわいなあ。せんそうのじだいにわたしが生まれていたら、もうがまんできなくて、もう、しんでいるかもしれません。これからはせんそうのない国になればなあと思います。」

「下川直子…今日、ふじいさんのおじいちゃんが、せんそうのことを教えてくれました。2月22日午前5時にせんそうが始まって、その歌まであるなんてすごいなあ、と思いました。みんな日の丸のたすきをして、ぐんぐつをはいて持ち物をもって、死ぬかもしれないのに、せんそうに行くのは、とてもいやだったろうなあと思います。はじめ3人のへいしがばくだんをかついで、とっしんして行って、いっしょに死んだという話を聞いたとき、とてもかわいそうだなあ、とてもゆう気のあるへいしだなあと思いました。せんそうには負けてしまったけども15歳~18歳のわかい人たちが次々に死んでいった日本のために命をなくしていったから、それで今、わたしたちがこんなに幸せなんだなあということを教えてもらった時、ありがとうございました。」

この感想文集を頂いた私は机の上に置いておくだけでは意味がない。そこで考えつくまま私は2月22日、この文集を引っ提げて靖国神社に参りました。湯沢権宮司の手で、御靈の前に捧げられたあと、若い神官の先導で昇殿した私は御靈の前で前述の感想文を声高々と朗読したのです。慰靈の誠を捧げるためであります。

戦

争

の

話

副会長

藤井

文太郎



## ポンと1千万円！

育英資金に母校へ寄贈  
同窓会副会長(故)加茂 勉氏の美挙

平成3年9月28日、第14回代議員会の開会に先立ち、同窓会副会長の加茂 勉氏のご遺族の美代子夫人と長男忍氏から育英資金として母校、林校長の手に1千万円が渡された。母校からは感謝状が贈られ謝辞を述べたあと、稻野同窓会長から追悼の言葉とともに謝意を表した。忍氏による贈呈説明は次の通りである。

父の気持（育英資金寄贈にあたって）

加茂 忍

昨年9月13日「最近の横綱はだらしがないなあ」と大相撲中継を見終えて、ふともたらした言葉が父の最後の言葉でした。兵庫県議会副議長・政治家加茂勉の66年間の生涯の終わりの言葉にしては、あまりにも日常的な言葉でありましたが、飾ることをあまり好まなかった父にふさわしいものだったと思います。

「波乱万丈」——父の好きな言葉であり、また、自分はその通り生きてきたという自負もあったのか、私達はよく聞かされたものでした。

その波乱万丈の生涯の中でもよく聞かされたのは松岡病院の書生をしながら、北陽商業学校に通っていた頃の話です。戦争まったく中、物資不足も深刻な時代であったでしょうけれど、その時の父の表情は晴れやかでした。「大阪の北に陽が昇る“北陽”ええ名前やろ、えらい先輩もたくさん出てはる」

こう話を切りだしたものです。とりわけ働きながら勉強をしたことに、非常な誇りをもって、にこにこしながら先生のこと、友人のことを私たちに話してくれるでした。

学徒出陣、シベリア抑留と決して平坦ではなかった父の道のりの原動力となったのが“北陽”での生活であったような気がしてなりません。政治の道に入つてからも、定時制高校の卒業式をスケジュールの最優先とし、母校の甲子園出場には何をさておい／＼

## 関東支部総会開かる

平成3年11月25日東京の代々木会館で関東支部総会が開かれた。当日会員18名と本部から藤井副会長が出席した。世話役は小宮、糸井、十時の各氏

関東支部総会出席の各氏（代々木会館にて）▶



▲ 林校長に育英資金を手渡す加茂 忍氏(右)

ても、球場まで応援に行ったものです。そして、どちらの時も、涙ながらに(父は涙もろい性格でした)私たちに話してくれるのです。

父が最期を迎える1週間程前、私は病院に呼ばされました。

「先祖のおかげで、いくばくかの財産もできたがその中から、1千万円を北陽の育英資金に寄付しようと思う。手続きをしてくれ」

父の話は万事がこうで、相談というものはありません。早速、同窓会の稻野先生に便宜をはかっていただき、9月末の同窓会の代議員会で寄贈する運びになりました。

代議員会の時、父はもうこの世におりませんでした。母と私が出席し、感謝状をいただきました。せめて、この時まで生きていてくれたらと、胸にこみあげてくるものがありました。今となっては「お父さん、いいことをしたな」と遺影に語りかける毎日です。

長々と申し述べました。父の寄贈がいか程のお役に立つかわかりませんが、よろしくご運用していただきますようお願い申し上げます。

終わりになりましたが、北陽高等学校、並びに同窓会関係名位に、父の生前へのご厚誼にお礼を申し上げます。



## 第11回卒さつき会久しぶりに開く

平成4年3月29日(土)、大阪・中津の世界長ビル1F フォルクスで久しぶりに同期会を開いた。

出席者は次の通り(敬称略)荒木、伊関、睦月、岡田、田口、藤井、松本、三宅、山下、山口、日上の計11名。

席上藤井より母校の現況を説明、また古稀を迎えた今、健康と安全第一主義で生き続けること、半面万一に備えて奥さんの名前も登録して置くこと、情報の連絡と伝達に努めることなどを話し合った。通信費として2,000円を未納の人は万両酒造内、さつき会藤井宛に送金されたし。

## 商一会第13回同窓会

(日時) 平成4年4月6日(月) 11時30分

(会場) 近鉄阿倍野店レストランKYK

今年初の同窓会と総会を兼ねて開催しました。当日は生憎と所用の為、或は健康の都合で参加者は僅か5名。少々淋しい感じでしたが、定刻総会を開き、先ず物故者への黙祷を捧げ、続いて決算報告、並びに平成3年度の行事報告など無事終了。続いて会食に移り、お互い久し振りの再会を喜び合い、積もる話に花が咲き、時を忘れる程でしたが予定の時間も残り少くなり、次回の再会を約し閉会致しました。

今回の参加者は藤田忠男、中井熱、岩永清治、杉中幸男、松村豊の皆さんでした。

昭和4年第1回卒業・松村 豊記

写真は商一会出席者 ▼



第16回商業第一本科同窓会

(昭和18年・1943年卒業)

私たちは恒例により、同窓会を平成3年11月2日(土) 大阪弥生会館で開催しました。

毎年のことながら、当日を楽しみにして出席した友人は24名の多数および、いつまでも変わらぬその友情と情熱を久し振りに肌で強く感じた次第です。東は長野県北佐久郡より、西は高砂市から遠距離をもいとわざ出席してくれた熱意には、ただただ頭の下がる思いでした。

席上、母校や同窓の近況報告等があり、1年振りに再会した喜びとお互いの健康を祝しながら時間のたつのも忘れて歓談し、来年また逢う日を約束して散会しました。

さて、私事になり恐縮ですが幹事として世話を受けてから早10年。その間、幹事の苦労を察しての

心遣いと思いますが常々、励ましてねぎらってくれる友人もあり、世話をとしてのやりがいとその責任を痛感しております。

半面、友人の中には体調を崩したり、或いは病院通いのため出席できぬ者もあり、残念なことにその数は年々増加の途をたどっております。中でもここ数年、毎年のように1人、2人とこの世を旅立つ学友の訃報に接し、会葬するたびにやるせない思いとそのご遺族の悲しみを目前にしてお慰めする言葉もなく、在りし日の友の元気な姿を思い浮かべ、寂しさをかみ締めながら、涙しております。

昔は人生50年といわれておきましたが、現在では70年、いや80年かも知れません。しかし健康であって生きがいを感じてこそ最高の人生だと思います

今年も11月に私達の同窓会を開催したいと思っておりますが、今まで通りに案内状を差し上げますので昨年以上、ご出席下さいますよう、この誌上をお借りしてお願い致します。

最後になりましたが母校、そして各学年度のOB会、及び同窓会本部のご発展と同期生諸兄のご健福をお祈りします。

世話人 真壁和義



写真は昭和42年D組同窓会出席者▲

## 髪に白い同窓会 昭和42年D組

木々の緑も目に鮮やかな季節がやってきた、ゴールデンウィークの初日。平成4年4月26日(日)、午後2時から北区の「魚心」で、昭和42年卒業D組の同窓会が開催されました。

今回は卒業後3回(昭和48年、平成元年1月7日以来)を数え、しかも25年目の記念ということで、ぜひとも出席する気になったのです。

当日は、今回初めて参加する者、3年ぶりに再会する旧友、お互い、髪にはすっかり白いものが目立ち、「ええっ、誰だったかな。おお、おまえかい…。」という声があちらこちらからでて、手を握り、肩をたたき、懐かしい友との歓談にどんどん親睦が深まっていきました。

宴に話ははずむが、時間は容赦なく過ぎるうちに終宴をむかえ、再会を約束して散会となりました。

なお、この会のため2ヶ月にわたり、昼夜わかつたぬ献身的奉仕をしていただいた幹事の協力がなかつたならば、この行事は完成しなかつたであろうことを付記しておきます。

(増記)

# 母校 クラブだより

## 硬式野球部

現在硬式野球部は1年生の入部者を迎え、総勢97名となりました。今年の春季大会では不覚にも4回戦で涙をのみましたが、その反省をふまえ、ウィークポイントをチェックしながら、「練習で泣いて試合で笑おう」をモットーに、部員一同猛練習に励んでおります。

夏の全国選手権大阪大会は、6月29日の抽選会で、1、2回戦の対戦相手が決まり、7月15日から始まります。

この夏の大会に向って、6月早々から強化合宿に入り、最後の調整を行いました。皆様のご指導、ご支援をよろしくお願ひ致します。

(監督・新納 弘治)

## 軟式野球部

軟式野球部は、山内先生を監督に迎え8年目になります。この間、夏の全国大会予選では4度も決勝に進出していますが、いま一歩力及ばず大阪代表の切符を手にしていません。

昨年の成績は春、夏ベスト8、新チームで臨んだ秋季大会は決勝でP.L.学園に惜敗し、準優勝に終わりました。しかし全国への確かな手応えを感じています。

今年こそ悲願の優勝旗を勝ち取り、明石球場の土を踏むべく、部員、顧問一丸となって、毎日淀川河川敷グラウンドで汗を流しています。

(顧問・村上 雄一)

## 史蹟研究部

僕たちの史蹟研究部は、毎年部員不足で悩んできましたが、今年は新入部員が4名入部してくれて、10名の大所帯になりました。

今年は、久し振りに遠隔地での合宿がファミリーなムードで出来そうで、北九州地区を予定しています。秋の文化祭にはその成果を展示発表しますのでご期待下さい。

昨年は日本文化の古里、飛鳥地区の踏査記録を発表して地域の考古学ファン、僕たちの父母からも好評でした。史蹟の文化祭は静かなムードでみられるのが好評の秘訣のようです。

(部長・3年 八尾 貴史)

## バスケットボール部

新入部員を迎えて、バスケットボール部員は40数名となりました。3年生が不在の若いチームですが1、2年生で熱心に練習に取り組んでいます。平成

元年度に近畿大会に出場した時のチームよりも、高い能力と大きな可能性を持っていると期待しています。

これからもいっそう努力して、良いチームを目指していきたいと思いますので、ご協力お願いします。  
(顧問・大田 基弘)

## ハンドボール部

ハンドボール部は、総勢30名で鈴木監督の指導のもとで毎日厳しい練習に励んでいます。その成果もあって、現在では近畿大会出場は常連になっています。

全国大会出場を目の前にしていま1歩勝ち切れていませんが、インターハイ出場も夢ではないでしょう。卒業生も各方面で活躍していますが、京都の教員になった楠本君も自分のチームを引き連れて母校へ練習試合で胸を借りに来ています。

アトランタオリンピックへ向けて日本の代表チームの候補として有望視されている森本君(大阪体育大学)の活躍も楽しみです。今後ともハンドボール部へのご声援をよろしくお願ひします。

(顧問・桑田 英雄)

## 陸上部

現在、陸上競技部員は53名おり、「めざせ頂上、燃えろ北陽」を合言葉に地味ながら粘り強く活動を続けております。

その結果、ここ数年間、個人種目において近畿IH、全国IHに出場する選手が育ってきています。また近畿高校駅伝へも4年連続出場をはたし、全国駅伝出場に向け、基本に忠実に、執念深く練習を行っており、徐々に成果はあがってきました。

部員全員が素直な心で練習にはげみ、礼儀をわきまえ、目的意識をもって取り組んできているので、いつかは頂上にのぼりつくものと確信しております。

また、この誌面をおかりし、教職員、陸上部OBの皆様方に平素のご協力深く感謝申し上げます。

(顧問・米川 修二)

## 硬式庭球部

創部6年目を迎える本校で最も若いクラブであります。前身は軟式庭球部です。野球部と同じ第2グラウンドにナイターのできるコートを3面作って頂き、毎日練習に励んでおります。

団体、個人戦ともに年々実力をつけており、常にベスト8をキープしています。昨年より全国中学校大会で好成績をあげてきた部員が入りました。

母校北陽発展のためにも部員一同頑張っておりま

すので、より一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。

(監督・岩内日出男 S48年卒OB)

### 卓球部

わが卓球部は、新入生を含めて21人。放課後の卓球場は練習する部員の熱気にあふれています。1昨年より夏の強化合宿を始め、実力を着実につけています。

目下の目標は、ここ数年達していない5回戦以上の壁を破り、北陽高卓球部の力を他校に知らしめるよう頑張っています。

(顧問・足立 紀尚)

### 放送部

5年前までは細々とアマチュア無線をしているだけのクラブでした。ある日突然、パソコンの好きな数名がパソコン部を作りたいと持ちかけてきたのがきっかけで、今では、無線、校内放送、パソコンといろいろなことに手を出すクラブになりました。

部員数も20名を超える大所帯。最初、生徒個人のパソコン1台から始まり、今では少し台数も増えましたが、中古ばかりの旧式で満足なものとはいえない。生徒にとって最大の楽しみは土曜の放課後、情報処理教室で最新の機器に触れられるときです。いつの日かパソコンネットワークで世界の各国の高校生と通信が出来たらなあ……。

(顧問・松岡 克己)

### 文芸部

杉浦先生からクラブの顧問を受け継いで以来、部員がゼロになることもなく地道に活動をしておりま

すが、方針としては入部してきた生徒の個性を引き出すことに主眼を置いています。創作ができる生徒読書ができる生徒、話のうまい生徒、文化祭の展示物を作るのが好きな生徒など実際に様々です。その個性を活動の中で見極め、得意なところがんばらせると、原稿用紙の書き方を卒業するまでマスターしようとさえしない生徒でも、文化祭で張り切って成功させます。

文化とは日常生活にないものの意と捉えています。原稿用紙の書き方を知らない生徒でも、文化祭の入場者に詩や俳句などを贈られて「だれでも文学家や」という先生の言葉が分かりました」などとニコニコする生徒の表情は美しいものです。

(顧問・今井 浩一)

### 新聞部

本校の校舎の廊下を歩いていると、掲示板に「北陽かわらばん」なる新聞が貼られているのを見かけられるでしょう。ワープロを購入して頂いたおかげで、部員が自分たちの手づくりの新聞を発行することができるようになり、編集から取材、写真活動、打ち込み、印刷へと張り切って活動しています。しかし、時間もかかり、ホットニュースを次々とお知らせすることもできず残念です。

長く定期発行してきた『北陽新聞』がOBの方々にも愛読されていたのを思うと“歴史的保存”になる新聞もやはり発行した方がいいんじゃないかとの意見も聞きます。100号を前にして中断した『北陽新聞』を復活させ、皆さんにお渡ししたいと思っています。

(顧問・大谷 宗平)

## 本部 事務局だより

### 第14回代議員会報告

平成3年9月28日(土)、新大阪・ガーデンパレスで恒例の代議員会を開催いたしました。

今回の代議員会は同窓会副会長加茂勉氏のご逝去を代議員各位にご報告しなければならないことがありました。北陽同窓会にとって加茂勉氏を失うことは痛恨のきわみであります。

加茂勉氏は終生、北陽高校を慈愛されてこられました。当日の代議員会において加茂勉氏より育英資金として1千万円の寄贈を長男の加茂忍氏から校長に手渡されました。加茂勉氏の業績は北陽高校の歴史に称賛され続けることでしょう。ご冥福をお祈り申し上げます。

次に北陽の名声を全国に轟かせた野球部・名監督、

松岡英孝監督の勇退挨拶がありました。松岡監督の勇退は北陽高校にとって惜しまるべきことです。もう一度、春夏の甲子園での松岡監督の白いユニホームの雄姿を見たいと北陽人なら誰もが思うことでしょう。松岡監督もまた北陽の歴史にその業績は称賛されることでしょう。稻野会長から松岡監督にその業績を称え勇退記念に金一封を贈られました。

次に副会長・福島嘉雄氏の労により講師藤中英子女士の講演「言葉とコミュニケーション」がありました。言葉のノウハウの有益なお話を拝聴いたしました。大変な盛況でした。

会次第の通り、代議員各位のご賛同を賜り、つながらなく第14回代議員会を無事終了することができました。

会次第は次の通りです。

次頁へつづく

## 前頁からつづく

1. 故加茂勉副会長から育英資金の寄贈。感謝状の贈呈。ご遺族のご挨拶。
1. 開会のことば
1. 会長挨拶
1. 学校長挨拶
1. 議長挨拶
1. 議事（審議）
  - 平成2年度事業報告
  - 〃 会計決算報告
  - 〃 監査報告
- 平成3年度事業計画
- 〃 会計予算案
1. 松岡監督の勇退挨拶
1. 講演「言葉とコミュニケーション」

## 平成3年度理事会報告

## 第1回理事会

平成3年5月11日 午後3時から  
新北京にて

## ①新事務局長の紹介

昭29年卒 大島恒明氏

- ②代議員会は9月下旬の予定、場所ガーデンパレス
- ③会報は代議員会に間に合うように発行する
- ④松岡先生が野球部監督を勇退され、長年の労をねぎらい、同窓会から金一封をおくる。

## ⑤副会長に加茂 勉氏

会計に濱本 辰巳氏

- ⑥同窓会に1,300万円があるので、何かに役立てたらどうか、ご意見がある方は会長又は副会長に連絡のこと。

## 第2回理事会

平成3年7月6日 午後3時から  
同窓会室にて

- ①第14回代議員会 9月28日 ガーデンパレスにて
- ②平成2年度会計報告 事業報告 理事会報告
- ③事業計画として今後の北陽同窓会の支部育成の活性化と発展に努力するよう代議員各位のご協力を願う

## ④松岡監督の勇退挨拶

- ⑤代議員会での講演者は福島副会長に交渉をお願いする

## ⑥育英資金について校長から説明

## 第3回理事会

平成3年9月28日 午後2時から  
ガーデンパレスにて

## 会報12号協力者(敬称略)

松村 豊	杉本 誠三	上田 秀一	小寺 恒雄
村元 正明	越川 昇	浜田 康雄	宮田 誠一
松尾 一毅	岩井 瑞子	森田 昭治	阪本 武治
山本 隆一	札場 治男	信田 政悦	法柏 信明
東 朗	小宮 茂	福島 嘉雄	松城 友一
杉本 次男	増田 正彦	城島 末明	皆川 良起
杉本 二一	松原 正	寺下 高間	照男
岡田 耕一	寺田 賢作	岡野 弘	西森 昭義
鈴木 稔昭	東尾長治郎	新井 敏男	高木 種夫
小山 謙三	安田 恵吉	小川 正明	飯田 久雄
酒井 英二	持田 嘉雄	釣宮 常幸	濱本 辰巳
森井 俊一	百崎 和男	西村 貞彦	糸井 亂
松田 理一	津田 義雄	左海 茂	今村 稔
本田 彰	杉本 庄七	宇野 稔	塩谷 半一
三木 憲三	一色 義三	大坪 賢浩	石田 修
三野 英雄	上田 昭三	小川 昌雄	北島 光男
井上 守正	柴田 希夫	巽 五平治	橋本 勝
井上 三二	十川 裕之	藤山 義夫	長柄 甫
岡 柳二	千原 勇	吉田 健	酒井 順
菱矢 一男	長谷 一雄	山口 保	宮野 孝雄
養老 美雄	味舌 十七	高木 隆雄	亀田 真守
林 時也	西垣 友夫	荒木 俊夫	西村 一男
津田 貞治	間 輝夫	鶴川 権治	金井 克純
橋本 幸弘	小谷 輝夫	川添 勝治	坂本 巍
薮田 秀一	庄田 精宏	豊嶋 高志	唐金 利平
高山 強	牧野 雅男	藤川隆文堂	糸井 弘至
宇野 博之	笠部 貞良	池田 一夫	北秋 一
西岡 達郎	入江 蔽夫	栗栖 治	下田 忠雄
川本 富三	福山 和久	杉谷 丸彦	徳本 幸治
藤川 重義	西田 和夫	富室幹之助	川口 重夫
田村 章一	柳川 明也	佐野 良晴	新井 正之
和田 茂	上田 敏彦	藤瀧 昇	松岡 恒
山下 秀夫	奥田 正道	田中 昭治	大西義三郎
西島 義晴	西本 太一	昭和17年卒同窓会有志、酒井金属工作所、村中七左衛門、第16回卒業同窓会	有志

## 北陽同窓会会則

## 第1章 総則

- 第1条 (名称) 本会は北陽同窓会と称する。  
第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると共に社会公共に貢献することをもって目的とする。  
第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。

1. 会報及び会員名簿の発行
2. 総会の開催
3. 母校の発展に寄与する事業
4. その他必要な事項

- 第4条 (本部及び支部) 本会は本部を北陽高等学校同窓会室におく。支部は必要な地域又は職場に設けることができる。本部に事務局を置き本会の事務を処理する。

## 第2章 会員

- 第5条 本会の会員は次の通りとする。  
1. 正会員  
(1) 北陽商業学校、北陽工業学校、北陽中学校及び北陽

	高等学校の卒業生
(a)	上記学校に在学した者で理事会の承認を得た者
2.	特別会員 母校の現職員並びに旧職員
3.	名譽会員 母校もしくは本会に特別の関係ありと認め理事会で承認を得た者
<b>第3章 役員及び役員会</b>	
<b>第6条</b>	1. 本会に次の役員を置く。 (1) 名譽会長 1名(母校の現校長) (2) 会長 1名 (3) 副会長 3名以内 (4) 会計 2名 (5) 監事 2名 (6) 事務局長 1名 事務局次長 2名 (7) 理事 若干名 (8) 代議員 若干名 (9) 翻訳・相談役 若干名
2.	役員の任期は3年とする。但し再任を妨げない。
第7条	1. 会長は代議員会に於いて選出される。
第8条	2. その他の役員は会長これを委嘱する。 (任務) 1. 会長は会務を総括する。但し緊急必要案件が生じ代議員会を招集するときまたは会長これを先決することができる。 2. 副会長は会長を補佐しその代理を務める。 3. 会計は会の財務を処理する。 4. 事務局長は本部事務局を組織し、会長の指示を受け、会に関する事務全般を処理する。

5.	理事会は会務を執行し会の運営上別に内規を定める。
6.	代議員会は次の事項を審議する。 (1)事業計画及び予算の承認。 (2)事業報告及び決算の承認。
7.	理事会及び代議員会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合には議長これを決する。
8.	監事は会計を監査する。
<b>第4章 会計</b>	
<b>第9条</b>	本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。
<b>第10条</b>	本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。 (会費) 本会の正会員は会費を分担するものとする。
<b>第5章 総会</b>	
<b>第12条</b>	総会は会長これを招集し代議員会をもってこれに代える事ができる。
<b>第6章 支部</b>	
<b>第13条</b>	本会は支部を設けることができる。支部長は支部を統括し本部にその会則役員名その他重要事項を報告し連絡を密にしなければならない。
<b>第7章 会則変更</b>	
<b>第14条</b>	会則の変更をしようとする時は、会長は理事会の議を経て総会の承認を得るものとする。
<b>第8章 附則</b>	
<b>第15条</b>	その他定めなき事項は会長が理事会にはかり、これを決定する。
<b>第16条</b>	本会則は昭和54年9月22日よりこれを施行する。

## 平成3年度事業報告

5月9日	会計監査
5月11日	第1回 理事会
5月22日	新代議員に委嘱状発送
6月6日	第1回 会報委員会
7月6日	第2回 理事会
9月3日	第2回 会報委員会
9月10日	第3回 会報委員会
9月19日	第4回 会報委員会
9月28日	第3回 理事会
9月28日	会報発送
3月13日	第1回 会報委員会

## 平成3年度 同窓会決算報告

3.4.1~4.3.31

収入の部 (単位円)

科 目	予 算	決 算	摘要
前期繰り越し	13,355,622	13,355,622	
会 費	2,850,000	2,805,000	561名
受 取 利 息	400,000	568,786	
代議員会会費	250,000	205,000	
会 報 決 算		115,895	
名簿売上		47,280	
合 计	16,855,622	17,097,583	

科 目	予 算	決 算	摘要
理 事 代 議 員 会 議 費	800,000	637,248	
学 校 へ の 協 力 金	250,000	250,000	
人 件 費	600,000	648,000	
旅 費 交 通 費	150,000	47,300	
消 耗 品 費	50,000	3,886	
通 信 費	100,000	58,870	
印 刷 費	100,000	103,892	
備 品 費	50,000	0	
支 部 成 立 費	100,000	25,000	
慶弔費	200,000	201,500	
予 備 費	300,000	224,338	
次 期 繼 越	14,155,622	14,897,549	
合 计	16,855,622	17,097,583	

# 恩師を偲ぶ会を開いて

(副会長 藤井 文太郎)

母校元校長、八澤但好氏を偲ぶ会が平成3年12月7日、同氏の1周忌を前に大阪・梅田の大坂弥生会館でささやかに開かれた。藤井、福島両副会長が世話役となり、林母校校長、稻野同窓会長をはじめ、春日丘、初芝各高校時代の同僚教師など総勢41名の出席だった。天寿を全うされているためであろうか、会場の雰囲気もなごやかで、先生の人柄のよさも加わって各位の追悼の言葉も明るく続き、最後にご遺族から美津子夫人のご挨拶があって解散した。

当日は「八澤但好の心」と題する句集を参加者全員に供養の印として贈られた。また、やむなく欠席された方々にも美津子夫人からこの句集を送られたのだが、同夫人に寄せられた礼状の1部を紹介するところである。

第1回卒・高山強氏…(前略)早速ながら本日、松村豊様より句集1冊ご恵贈賜り誠に有難うございました。先生には長寿を全うされて早や1周忌をお迎えになられ、心からご遺徳を偲びました。(中略)ご命日には拙宅の佛前に句集をお供えして淨土真宗の正信念佛偈を読経奉納させて頂きます。私も81歳になり先生の句集を拝して“手入れせし菊の萎れる度毎に残り少なき命を思う”全く同感でございます。同級生の一人又一人と他界されるを聞き1日1日を送っております。(後略)

第10回卒・牧野雅男氏…(前略)本日は恩師のご立派な句集までお送りいただき只々感謝申し上げて

おります。私など詩歌の世界にはおよそ縁遠い存在でしかありませんものの、先生の句集は一気に読ませて頂きました。読む程に恩師の面影が躍如としてよみがえってまいり、温かい先生の人間味あふれる人生観に接したような気が致します。北陽在学中は勿論ですが、卒業後も私が代表を致しておりました同期生の集まりにも数度ご出席を賜り、色々とご豊富な処世術などお聞かせて下され、同窓生一同感歎申し上げておりました。又、お宅にもお邪魔し、麻雀をしたことなど追憶のつくるところがありません。これからもこの句集をつくづく嗜みしめて行きたいと思っております。(後略)



在りし日の八澤先生と美津子夫人  
藤井、濱本、佐藤各氏、米寿のお祝いにお訪ねしたのだが、ご生前の最後の写真となった。

## お別れに際して

前・母校教諭・野球部監督 松岡英孝

昭和35年22歳の春、北陽高等学校に赴任して以来32年間が、またたく間に過ぎてしまいました。

1昨年の夏に31年間の野球部監督を勇退し、さらに今春3月には私の一身上の都合により、教諭生活にもピリオドを打つことになりました。北陽の旗の下で過ごした32年間の教諭生活は、私にとって人生の宝といえると思います。生徒たちと共に過ごした日々は私の人生のそのものでした。

毎日が勝負に明け暮れ、戦いの日々でした。長く感じたようで、気付けば54歳の春でした。

同窓会の皆様にはいつも野球部の為に、ご支援、ご協力を賜わり誠にありがとうございました。また甲子園出場の際には色々と応援をしていただき深く感謝致しております。この場をお借り致しまして厚

くお礼申し上げます。

卒業生の皆さんも各分野でバリバリご活躍されていることと思います。高校生の青春時代に、教師として共に過ごした日々を懐かしく思いつつ心身のリフレッシュをして、若者のような気分で“第二の人生”をしっかりと歩んでいきたいと思っております。北陽高校同窓会の益々のご発展と皆様のご健康を心よりお祈り致しております。

**スポーツ 八田**  
八田英樹

〒532 大阪市淀川区三国本町3-10-9  
三国小学校前

TEL. 大阪 (06) 392-0015  
FAX. 大阪 (06) 392-1900

<p>旅は仕事の潤滑油 ひとりひとりを大切に旅のことなら 全国旅行業協会 大阪府支部理事</p> <p>北港ツーリスト</p> <p>代表者 福島 嘉雄 (S26年卒) 電話 06-329-1517 329-4416</p>	<p>高級純日本酒</p>  <p>大阪府茨木市玉櫛1-1-8 電話 (0726)32-2277</p> <p>万両酒造株式会社</p> <p>社長 藤井 文太郎 (旧名 信雄) (昭和14年卒業)</p>
<p>濱本辰巳</p> <p>(S17年卒)</p> <p>電話 (06) 323-6375</p>	<p>栄興電機工業株式会社</p> <p>代表取締役 三木憲三 (23年卒)</p> <p>本社 〒661 尼崎市瓦宮1丁目9-15 TEL 491-5301</p> <p>工場 〒564 摂津市一津屋3丁目3-14 TEL 349-2831</p>
<p>昭和17年卒業 北陽商業学校第一本科 第15回卒業生同窓会(有志)</p> <p>会長 北秋一</p> <p>電話 (06) 852-5566</p>	<p>茨木市役所</p> <p>北陽会一同</p> <p>電話 (0726) 22-8121</p>
<p>松原紙株式会社</p> <p>代表取締役 松原正 (S18年卒)</p> <p>本社 富田林市若松町東3丁目7の45 TEL 0721-25-4415</p>	<p>昭和18年卒業 北陽商業学校第一本科 第16回卒業生同窓会有志</p> <p>世話人 真壁和義</p> <p>電話 (06) 321-0025</p>
 <p>株式会社 うきを清</p> <p>本店料亭・大阪市中央区北久太郎町5の18 電話 (06) 252-7300~2番</p> <p>西区立堺堀・千里セルシ・虹のまち 新大阪駅・鴻池駅前</p> <p>代表取締役 津田貞治 (S16年卒)</p>	

<p>小川 昌雄 (S 18年卒)</p>	<p>代表者 松城友一 (S 20年卒)</p>
<p>幼稚教育から老人・精薄 福祉に奉仕する 社会福祉法人 天王グループ 学校 法人 事務長 村田 昭 天王統轄本部 茨木市大正町3-16 電話0726-35-1234</p>	<p>リコー OA機器専門店・総合コピーコーナー 東洋オフィスマシン株式会社 ABCコピーセンター 営業部長 神野 賢祥 本店 〒532 大阪市淀川区西中島3丁目8番14号 大隅ビル1F・3F TEL 大阪(06) 304-8491(代)</p>
<p>ミヤナガドラッグストアー 宮永 康之 (昭和30年卒) 大阪市東淀川区菅原6丁目23-19 TEL 06-327-2666</p>	<p>川砂、建築材料一式販売 (株) 三野商店 代表取締役 三野英男 (S 30年卒) 吹田市南高浜町35-1 電話 (06) 383-0062</p>
<p>生菓子司 さわや 濱田 康雄 本店 〒536 大阪府摂津市千里丘東1丁目6-8 電話茨木(0726) 22-2908 FAX(0726) 23-9911 フィルテ摂津店 〒536 大阪府摂津市千里丘東2丁目10番1号 電話茨木(0726) 25-5208</p>	<p>旅行のお申し込み・お問合せは 京阪交通社 修学旅行センター 東朗 (S 46年卒) 電話 (06) 228-1691</p>
<p>塗装工事※看板 日本ペイント住宅塗替施工店 大阪府・吹田市指定業者 株式会社 寺田美研 吹田市高浜町4番7号 電話 (06) 381-2401(代)</p>	